

2月のくらし

成人病
予防週間

広報かわにし

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎
 発行者 川西町 印刷所 白南風社
 (町長 中村壮吉) 定価 1部5円

人口の動き
2月1日現在

男	6623人
女	6893人
計	13517人
世帯数	2699世帯

生活を花でかさろう

花には女らしさがいっぱいいただよ。花を生けるのは、その業を取める人のアクセサリ
 一なのではなくて、人の心をなぐさめておおらかなものとし、私たちの生活に無限のうる
 おいをあたえてくれるからである。

花いっぱい運動が提唱されてから数年、この町でも、婦人学級や青年学級あるいは娘さ
 んたちのあいだにたくさんのグループが生まれた。

新生活運動写真シリーズ



二月の行事

- 二日 課長会議
- 三日 たばこ組合懇談会
- 節分
- 四日 立春
- 五日・六日 町長一行上京
- 七日 郡市国保研究会
- 十二日・十三日 通常町会
- 十四日 国保委員会
- 十五日 町長出張 (新潟市)
- 十六日 "
- 十八日 総財委員会
- 十九日 "
- 二十日・二十一日 産婆委員会
- 二十三日・二十五日 文庫委員会
- 二十八日 春の全国火災予防運動

ある投票から

『統一地方選挙のことが、きま
 って地方紙の話題の中心となっ
 ている昨今の状況です。この町では
 県議選以外は関係ないようですが
 できれば、先月号の『やかた』欄で
 もふれておきたいように、この町は、
 いわゆる草刈り場の状態で当落の
 カギをにぎっている町なんだと。
 (中略)
 地方紙が、きまって選挙のこと
 をとりあげ、その熱をあ
 おっているような感じがす
 るのに、町では、きわめ
 て無関心の態にみえるの
 は、立候補する人がいな
 いらしい。町で候補者を
 もたないような空気が大
 きく左右しているからでしょう。
 選挙の空気が静かだ、しかし関
 係がないのではない。一名を選び
 だす権利をもち、しかも当落のカ
 ギをにぎっていると考えるとき、
 選挙熱はないのでなく、地下にも
 ぐってしまった。さらに、その上
 をふりつもった雪でおおわれ、あ
 まり明瞭でない胎動をしているの
 ではないでしょうか。
 (中略) 被選挙人と選挙人の関係
 なんて見つけたのです。

町づくり

これは、寄せられた投票のなか
 からひろった町民の声なのだ、
 抜き書きしたため、まよりのな
 いものになってしまった。
 この人の投票を読んでみて、痛
 切な自治の要求を感じとったので
 す。希望するならば、自分の意志
 で、適任者を判断する謙虚な反省
 になり、ひいては、いつのどんな
 選挙にもあてはめられる良識をみ

1町議会報告1

課設置条例を改正 協議会は観音堂火災で流会

ことしの初議会、すなわち昭和三十八年度第一回臨時会は、まだ正月気分濃厚な一月十一日に招集された。議事には先に先だつて恒例により、まず和久井議長、中村町長からそれぞれ新年のあいさつが述べられた。

議案は、川西町課設置条例の一部を改正する条例一件だけで、約一時間というスピード審議で本会議を閉じた。引きつづいて全員協議会に移り、三十八年度一般会計財源見積もり九千七百万円について町長提出の資料により検討を行なった。

なお、翌十二日は引きつづいて全員協議会を開いて、まず課の増設に伴う議会常任委員会条例の取り扱いについて協議した。その結果、八月末に予定されている正副議長、常任委員長等の改選までは現在の体制で行く方針で、とりあえず、新設された土木課と国保衛生課を従来のとおりそれぞれ産建総財商委員会の所管に加えることとし、その限度で現行条例を改正する方針をきめた。

次いで、仙田中学校の第一分校(室島)を本校に統合し、第二分校(白倉)を分離して白倉小学校との併置校とすることについて協議中、午前十一時四十五分伊勢平治平手観音堂の火災が発生したため、会議は遂にそのまま流会となった。



国保衛生課長 平沢 徳松

土木・国保衛生課を新設 六課として二月から発足

川西町課設置条例の一部を改正する条例は、従来の四課(総務・産業・教養・財政)のうち産業課から土木と災害復旧を分けてこれを土木課とし、財政課から国保と衛生を分けて新たに国保衛生課を設ける、というもの。改正の理由として述べた中村町長の提案理由の要旨は次のとおりである。



財政課長 田口 一朗

教育課長 金山 良晃

川西町役場機構並びに職員表

昭和38年2月1日

町長 中村 壮吉	副町長 押木 利成	総務課長 田口 一朗 TEL 10	庶務係長 小川 伊作	遊園係長 遊野 良子	登壇係長 坂口 井上	平良係長 平良 良マ	押木カツ子	青木カツ子	油井キミ
	財政課長 田口 一朗 TEL 122	戸籍係長 教康 信善	南郷文八	須藤良平	蔵品京子	農林係長 南郷 幸雄	山田 五作	宮 昭一	野沢 政雄
		農会係長 丸山 精二郎	高橋 良平	農工係長 野沢 新一	山田 五作		宮 昭一	野沢 政雄	
	教育課長 金山 良晃 TEL 4	農産共済係長 星名 宗吉	上村 健一		須藤 秀雄	高橋 和子	農産委員会係長 佐藤 克平	和久井 守	高橋 重英
		国土調査係長 丸山 歌一	高橋 英雄	高橋 功	宮 信一	税務係長 水品 志雄		小川 益一	上村 比久
	土木課長 小川 政一 TEL 44	教育係長 教康 幸三	金子 幸作	保坂 国夫	星名 四郎		社会係長 教康 正治	金子 秋江	南郷 直秀
		土木保護 沢口 富士雄	山口 芳蔵	権間 富雄	災害復旧係長 星名 仁作	水品 幸一		大平 剛士	大井 芳子
	国保衛生課長 平沢 徳松 TEL 45	国民健康保険係長 星名 康三	南郷 守	小林 英一		五十嵐 一男	衛生係長 上村 辰栄	小林 キミ	富井 ヒサ
		仙田出張所 和田ヨリ	樋口ミイ	橋出出張所主任 山田 喜雄	高橋 サキ	出納係長 星名 カズ		小林 竹野	
	収入役 根津 正三	出納係長 増田 孝 TEL 10							



土木課長 小川 政一

「産業課の中へその後農業共済がはいったが、土地改良区も事實上産業課の所管であり、さらに農業委員会も含まれているといった状況で三十名以上にふくれあがり、他の課とバランスのとれない形になっている。これ

は小さな役場の課としては過大であるから、土木と災害復旧を合わせて別に土木課を置くこととした。

また、国保は特別会計であるので財源の出入れがあるので財政課に入れておいたわけであるが、診療所関係等いろいろあって国保会計の金額も大きいので国保と不可分の関係にある衛生課を合わせて国保衛生課とした。課長以下の人事については四月一日からということも考えてみたが、ベースアップとの関係

もあるので、一月中に、欠員の教養・財政課長とともに発令したい。」

この改正案に関連して、議会の常任委員会の所管の問題や、土地改良区の事務処理の問題、さらには農協統合や農業構造改善の問題等に及ぶまで活発な質疑討論が行なわれたのち、原案どおり可決された。

なお、この改正条例に基づく人事は、別項のとおり一月二十八日に発令され、二月一日から発足した。

ふるさと

どこの土地へ行ってもその地独特のうまいもの、自慢料理があるようです。どれ一つを味わってもその土地の自然条件によって作り出された芸術品であり、風土の味わいといえることができます。ピリリと辛いカレー料理が暑いインドで生まれ支那料理の濃厚なエネルギーが大陸の自然から作られたように、この里にも川西の味わい、という料理があると思えました。山の春の匂いを発散させる山菜、山うどのごまあえのたけししいほどの香り、あけびの芽のひたしのほろにがい風味、夏はきそばの素材さ秋は、コウジのきいた野沢菜の漬物の歯ざわり、そして冬はほんしんと積る雪を聞きながら大鍋からとりわけ熱い大根煮の妙味、大きく切った大根、里いも、白菜、塩ざけのガラ等、混然ととけ合った湯気の中に雪の夜の情緒があるといったらいすぎでしょうか。遊山としゃれた町のオツツが、宿で「大根のそぼろあんかけ」を出され、「家において毎食一杯ずつ大根煮を食ってのにここまで来てまたこんなもの食えるか」といったとか。大根煮を薄味に調え、左記の各種みそなどつけて食べますとまた楽しい趣が出来ますのでお知らせいたします。△そぼろみそ、鶏や豚のひき肉をいため味噌砂糖りん(または酒)を火にかけてねり、とろりとさせる。△ピーナツみそ、ピーナツをすりつぶし、味噌砂糖味りんでねる。△胡麻みそ、△ゆずみそ、△油みそ、△生姜みそ、△芥子みそ (A)

大雪に拾う

ことしの異常寒波は真日本一帯に大雪をもたらした。一切の交通はマヒ状態、食料品は極度に不足なだけや家屋の倒かいで犠牲者が続出、急きよ来興した視察団もあまりの惨状にこぼれがなかったという。雪害対策本部が設けられ、災害救助法が適用された。

さほど降らない地帯に大雪が降る、人口密度は高い、マスコミもさわぐ、対策が講じられる。きわめて当然のことであり、救いの手は一日も早くさしおいてもらわなければならぬ。筆者も長岡で三日の間定めの食糧を食ったが、いつ出るかわからない列車に乗る。煮やして、川口駅まで歩くという戦時中を思い出すような経験させられた。こんな中でも、わが飯山線とバス路線だけは健在だったのである。

社会教育

驚いたことに、町の人たちは「どがそんなに大雪なのか」といった表情で、屋根よりも高く積み上げたのはあたりまえだという顔をしていて、夏中楽器を鳴らして遊んでばかりいたキリギリスが、冬になって食べ物がなくて苦しんだ。それにひきかえ、夏もせつせつと働いたアリは少しもあわてなかつたという、昔の修身のたとえをそこに見たような気がした。

「雪が屋根よりも高いそうだが」「つぶれる心配はありません」「孤立している部落はないか。」

「みんな孤立していますよ」「人心は動揺していませんか?」「ええ、ちっとも」

岩瀬から役場までの雪道を、命がけで、カンジキはいて四時間もかかるような日はザラにある。四時間といえは、夢の超特急なら東京から大阪に着いてしまおう。しかも、いっぽうはオシヤレをして、安全度の高いデラックスな車内にふんぞりかえって行けるのである。とり残されていくへき地、どこかがまちがっているようだ。

ある日、庁内でこうした怒りをぶちまけていたら、耳よりの明るい話をきかせてもらうことができた。それは、栄橋の完成と前後して上野までの道路が舗装され、昨年二級国道に編入された仙田線がさらに大巾な改修後に舗装され、それまでに干手と橋の間も舗装されるというのであった。こうなれば、四、五年後には無雪道路の夢が実現する可能性があるというのである。暗夜に光明を見たような気がした。

しかし、筆者はさらに考えるのである。無雪道路の表現がうれしいことにはちがいないが、それだけで問題が解決されるわけではない。ここで問題にしたのは、世間が大雪だといっているような雪とはケタはずれの豪雪を、毎年経験しなければならぬのがこの土地であること。この事実が注目されてきたとはいえず、具体的な対策が講じられていない。ということの二点である。「宿命だ。どうにもならないのさ」そういってあきらめていてよいのだろうか。

町では昨年九月一日現在をもつて青少年の実態調査を実施したがこのほどその集計が全部終了し製本の段階にはいっている。ともあれこの調査に協力くださった町嘱託員をはじめ青少年のみならず深い感謝のこころを申しあげたいと思う。とかくこの種の調査になるとなかなか回収ができず困るものであるが二つの部落の提出がなかっただけで残りの全部が良心的な回答を示したのはまことに喜ばしい限りである。詳しいことがらについては報告書にゆだねここでは大体的あらましを記してみたと思う。この調査の対象者は中学卒業から満二十六才未満の町に住んでいる青少年全員について行なったもので回収有効枚数が九八四枚に達している。

たかや

このうち男子五二二名に對し女子四七二名と男子が四〇名多く在住していることがわかる(実際はこれより多い数字になると推定される)確定数字とはいわれないかも知れないがそのときの人口は男子六七一九人、女子六九四一人となつてゐる。

- ①自分の家 八八一名
- ②勤め先、下宿 四六名
- ③寮、寄宿舎 一名
- ④無記入 四六名
- ⑤統柄
- ⑥長男、長女 五四七名
- ⑦それ以外 四二七名
- ⑧無記入 一〇名
- ⑨未婚、既婚の別 八六三名

- ⑩既婚 八〇名
- ⑪無記入 四一名
- ⑫あなたの職業
- ⑬農業 三八〇名
- ⑭職物関係工員 二五一名
- ⑮学生 二九名
- ⑯無職 四二名
- ⑰土木建設業 三六名
- ⑱事務員 三二名
- ⑲公務員(公社員) 二五名
- 以下省略する。
- ⑳最終學歷
- ㉑中卒 七二名
- ㉒高校卒(全日制) 九四名
- ㉓高校卒(定時制) 二〇名
- ㉔短大卒 二名
- ㉕大学卒 三名
- ㉖その他 二〇名
- ㉗無記入 二四名

- ㉘冬期出かせぎにでた方面(昨年)
- ㉙関東方面 二二二名
- ㉚関西方面 三三名
- ㉛県内 八名
- ㉜市内(十日町) 一五名
- ㉝その他 九名
- ㉞その他 一名
- ㉟団体の加入について
- ㊱青年団(会) 三八〇名
- ㊲青年学級 二八名
- ㊳青年学級 二五名
- ㊴婦人会 二八名
- ㊵婦人学級 二二名
- ㊶宗教団体 二九名
- ㊷研究サークル 二五名
- ㊸その他 二五名

部についての報告書の必要なたは、あらかじめ公民館事務局に申し込んでください。現在金額はわかりませんが実費で差しあげます。

保健婦室

人見知りの強い赤ちゃん、人見知りはどうして起るのでしようか。それは今まではくせんと胸にすがっていたおあさんと、見つけられない人を鑑別する力が出てきたこと、見られない人には恐れをいだく心が芽生えてきたからです。しかし赤ちゃんの中にはいっとう人見知りのない赤ちゃんがいます。それは家の中大げいの家族がいます。たしかに家族の多い家庭の赤ちゃんは人見知りが少ない、人見知りをする赤ちゃんもいます。しかし家族が多くてもひどく人見知りする赤ちゃんもいます。ひっそりとした家庭に育った赤ちゃんでもまったく人見知りがない赤ちゃんもいます。これはどうもかとおかあさんの性質をよくのみ込んで、用心深い子どもにはもう一歩つき進む気力を与え、用心の足りない子どもにはいろいろの危険のあることを知らせあげましょう。そうしたおあさんの指導が非常に大切なことだと思つて。以上おあさんをお悩ますいろいろの問題についていっしょに考え合つたわけですが、一口に赤ちゃんといつてもいろいろの型の赤ちゃんがあることを理解していただけたらと思います。どんなに生まれる前の条件があつても、その特質を赤ちゃんを取り巻いている環境が、どのように受け取り、どのように導いてゆくかは非常に大切な問題だと思つて。

人見知りの強い赤ちゃん、人見知りはどうして起るのでしようか。それは今まではくせんと胸にすがっていたおあさんと、見つけられない人を鑑別する力が出てきたこと、見られない人には恐れをいだく心が芽生えてきたからです。しかし赤ちゃんの中にはいっとう人見知りのない赤ちゃんがいます。それは家の中大げいの家族がいます。たしかに家族の多い家庭の赤ちゃんは人見知りが少ない、人見知りをする赤ちゃんもいます。しかし家族が多くてもひどく人見知りする赤ちゃんもいます。しかし家族が多くてもひどく人見知りする赤ちゃんもいます。ひっそりとした家庭に育った赤ちゃんでもまったく人見知りがない赤ちゃんもいます。これはどうもかとおかあさんの性質をよくのみ込んで、用心深い子どもにはもう一歩つき進む気力を与え、用心の足りない子どもにはいろいろの危険のあることを知らせあげましょう。そうしたおあさんの指導が非常に大切なことだと思つて。以上おあさんをお悩ますいろいろの問題についていっしょに考え合つたわけですが、一口に赤ちゃんといつてもいろいろの型の赤ちゃんがあることを理解していただけたらと思います。どんなに生まれる前の条件があつても、その特質を赤ちゃんを取り巻いている環境が、どのように受け取り、どのように導いてゆくかは非常に大切な問題だと思つて。

用心深い赤ちゃん、用心深さなどというものも、ずいぶん早くから現われる赤ちゃんもありませぬ。縁側に出て、決してあぶないほうには行かず、縁側から下を見るにもちゃんと安全な体勢をととのえていますからおあさんも安心していられます。こういう赤ちゃんは新しい環境に對してもなかなか用心深く、場所が変わると寝なかつたりまた初めての食物はよくかみしめてからでないといつてみても高いところへ上つていったり、縁側から何度おこちでもこりなかつたり、生傷の絶え間がないという赤ちゃんがあります。こうした性質もどういふところに原因しているのかわかりませぬ。生まれつきではないからと思われれる節もたくさんあります。それはともかくおあさんはこういう子どものそれぞれ性質をよくのみ込んで、用心深い子どもにはもう一歩つき進む気力を与え、用心の足りない子どもにはいろいろの危険のあることを知らせあげましょう。そうしたおあさんの指導が非常に大切なことだと思つて。以上おあさんをお悩ますいろいろの問題についていっしょに考え合つたわけですが、一口に赤ちゃんといつてもいろいろの型の赤ちゃんがあることを理解していただけたらと思います。どんなに生まれる前の条件があつても、その特質を赤ちゃんを取り巻いている環境が、どのように受け取り、どのように導いてゆくかは非常に大切な問題だと思つて。

用心深い赤ちゃん、用心深さなどというものも、ずいぶん早くから現われる赤ちゃんもありませぬ。縁側に出て、決してあぶないほうには行かず、縁側から下を見るにもちゃんと安全な体勢をととのえていますからおあさんも安心していられます。こういう赤ちゃんは新しい環境に對してもなかなか用心深く、場所が変わると寝なかつたりまた初めての食物はよくかみしめてからでないといつてみても高いところへ上つていったり、縁側から何度おこちでもこりなかつたり、生傷の絶え間がないという赤ちゃんがあります。こうした性質もどういふところに原因しているのかわかりませぬ。生まれつきではないからと思われれる節もたくさんあります。それはともかくおあさんはこういう子どものそれぞれ性質をよくのみ込んで、用心深い子どもにはもう一歩つき進む気力を与え、用心の足りない子どもにはいろいろの危険のあることを知らせあげましょう。そうしたおあさんの指導が非常に大切なことだと思つて。以上おあさんをお悩ますいろいろの問題についていっしょに考え合つたわけですが、一口に赤ちゃんといつてもいろいろの型の赤ちゃんがあることを理解していただけたらと思います。どんなに生まれる前の条件があつても、その特質を赤ちゃんを取り巻いている環境が、どのように受け取り、どのように導いてゆくかは非常に大切な問題だと思つて。

新潟県立農業教育センター

本科研修生募集案内

一、設立の趣旨

わが国の農業はいま一大転換期にさしかかっています。この数年間における経済の高度成長にともなうて、農業従事者の他産業への流出はおびただしく、本県では二十一万農家のうち、あつひが農業に従事しているのは約半数となつてしまつてしまつた。こうした農業人口の減少のほかに、食生活の向上による農産物に対する需要の変化、さらに自由貿易による市場の拡大と競走など、農業をとりまく情勢の変化は好むと好まざるにかかわらず、農業の構造改善をきびしくせまっています。

幸に最近における技術の進歩はかかる情勢に即応して新しい農業を芽生えさせています。クワ、カマ、農業からトラクター農業へ、生業的、副業的小規模経営から大面積栽培や多頭飼育へと大きく転換することが予想されます。政府はこの傾向をいっそう促進するために農業構造事業をよびかけています。こうした情勢の変化を考えると、今後とも農業とすじに生き抜くという農家にとっては、新しい農業をにならぬための教育がきわめて重要な課題となつてきました。

本県には二つの経営伝習農場と一七の農業学科をおく高等学校が

ありますが、いずれも耕地はせまなく、施設に乏しく近代的農業をになうにふさわしい後継者の養成に幾多の不便を感ずるに至りました。このため昭和三十八年度より経営伝習農場を整備統合するとともに、農業高等学校の共同実習施設と、それに一般農業者の研修施設をも含めた総合的な農業教育機関として農業教育センターを設立するに至つた次第であります。

二、センターの概要

(1) 目的 農業基本法第二条第七項の趣旨にもとづき「近代的農業経営を担当するにふさわしい者」を近代的な農場運営の実践を通じて養成する。

(2) 組織

農業教育センターに左の部門を設ける。

(3) 設置場所

西蒲原郡巻町(越後線巻駅)

(4) 教育方針

近代的農業経営の推進者、担当者としてふさわしい人材を育成するために左の教育目標を掲げる。
○「おれは農業が好きだ、農業をやるんだ」という農業に対する積極的な態度をつくる。
○企業の農業経営者として必要な知識、技術を身につけさせる。
○協業経営の中核者として「人を組織し人を動かす指導性」を養う
○作業に対する新しい「しつけ」を重視するとともに労働に耐えうる体力を鍛える。

この目標を達成するために、左の教育方法を採用する。
○全員寄宿舎に宿舎し自治的な共同生活を通じて民主的、共働的な人間を形成するとともに、近代的な農場経営の実践を通じて知識技術を体得させる。
○県の農林行政、試験場、農業団体等との密接な連携のもとに、自家農業を核とした地域農業の構造改善を推進できるよう指導援助する。

(6) 本科の教育内容
1 本科(男子)
普通科目 国語(現代国語) 社会(政治経済) 数学(高等数学) 理科(生物・化学) 英語(農業英語) リダーシップ
農業科目 農業概論
作物(水稲・畑作・飼料・その他の作物)
園芸(果樹・野菜・花卉・ピニール園芸)
酪農・養豚・養鶏・農畜産加工・機械操作・農業土木・土壌肥料・作物保護・農業経営・営農設計

2 本科(女子)
普通科目 男子と同じ
農業科目 農業概論・女子総合農業
家庭科目 被服・食物・保健衛生
保育・家庭経営

三、本科研修生募集要項

(1) 募集人員

男子 約 八〇人
女子 約 四〇人

(2) 応募資格

応募者は次の条件を具備することが必要である。
1 中学校卒業または昭和三十八年三月卒業見込みの者で身体強健思想堅実な者。
2 修了後は農業に従事する志望の確実な者。
3 市町村長・農業委員会長・教

育委員会・農協組合長・出身中学校長・農業改良普及所長のうち三人以上の推せんを得た者。
(3) 応募手続
1 提出書類
○入所願書・履歴書・営農状況調査書・推薦書・最終学年学業成績証明書・健康診断書
○印の用紙は返信用封筒に一〇円切手をはって県庁農業技術課あてに請求すること。
2 提出期日と提出先
昭和三十八年一月二十五日から二月十五日までの間に、新潟市学校町、新潟県庁農業技術課長あて書留とし、封筒に「入所願書」と朱書の上提出のこと。

(5) 選考
1 選考日時 三月三日・四日
2 選考場所 長岡市農研会館
3 選考方法
○国語・社会・数学・理科・技術
○家庭科・英語(または農業)の六科目について筆記試験を行なう。
○別に面接を行なう
4 三月中旬までに決定し、本人に通知する。
(6) その他参考事項
1 授業料は徴収しない。飯米は月二〇キログラム持参のこと。副食費、後援会費等として月一五〇〇円程度必要である。
2 修業期間中に、近代的農業経営に必要なトラクター等の免許取得、家畜人工授精師の免許取得に必要な素地を培い、相当年令に達した場合取得できるような方途を講ずる。
3 詳細については、役場内教養課 電話千手四番に問い合わせられたい。

豪雪と災害救助法

今回の豪雪に対して、県は二月一日七市一町に災害救助法を発動しました。なお統一二日新たに九市町村に発動しました。そこで災害救助法の適用基準はどんな場合かといえます。台風・水害・地震・あるいは火災等の災害についての基準は、川西町では四〇戸以上の住家が滅失したとき半壊は八〇戸以上で、それに近い数に達したときも発動されることとなります。しかし、雪害に対しては以上のような条件にあてはまらないので「多数の者が生命、身体に危害を受け、または受けるおそれがある」という項目にあてはめられたようです。そこで、どの程度の積雪を適用基準とするかは新聞でもご承知のとおり、積雪が例年より一メートル以上多く、そのうえ三メートルを越えているところ、豪雪で孤立状態にあるところとされています。三条市に例をとれば、例年一メートル内外の積雪が本年は最高四三メートルに達しています。雪掘りの賃金も二五〇〇円とはねあがったときもあるようでした。このような市町村に対して災害救助法の適用は当然でありますが、毎年三メートル以上の積雪とたたかっている山間部の市町村の苦勞も十分くみとってもらいたいと考えます。話は横道にそれましたが、災害救助法が発動されると国や県から町に対してどんな援助があるかといえます。概略次のような項目があげられます

- 一、避難所設置のための費用
学校や公民館を使用する場合、急急的の補修、改造の人工賃や材料代等一人一日、四円五十銭、冬は六円
- 二、応急仮設住宅
自らの資力では住宅を建築できない者に對し、簡単な住宅を仮設し、二カ年間供与する。
一人平均一三〇〇〇円以内
三、炊き出し等食品の給与
1 避難所に収容された者
住家の全壊、全壊、床上浸水等で炊事のできない者。
汽車、汽船の旅客等も短期間受けることができる。
- 2 経費
一人一日七十円以内とし、大人も子どもも差別なく平均とする
- 3 期間 間
六日以内、通常二日ないし三日で十分とされている。
- 4 飲料水の供与
災害のため飲料水が濁水または汚染し、近所からも得られない者。
- 5、被服、寝具等の給与
1 日常生活に欠くことのできない被服、寝具等をなくし、しかも物資の販売機構の混乱により、資力の有無にかかわらず、直ちに入手することができない者
2 経費については、県より物資の給品が主であり、毛布、布団、肌着(上下)がある。金額に換算すると、四人世帯で
夏 六、四七〇円以内
冬 九、七七〇円以内
- 3 期間は十日以内とされている。
六、医療及助産、救出、住宅の応急修理、学用品の給与等以下次号

3 詳細については、役場内教養課 電話千手四番に問い合わせられたい。

3 詳細については、役場内教養課 電話千手四番に問い合わせられたい。

ふるさとをよめる...

お観音さま

伊勢平治の観音さまが火事だと...

三十二年度文化財総合調査で...

千手観音のはじまりは、坂上田...

この観音像は、高僧延鎮が靈夢...

そのときお供をして来た伊勢の...

も、どの話も古い時代のことであ...

として、天文二十三年十一月に南...

松茂(?)かと思われる一五メ...

記録によると、享保年中(二百...

長徳寺の前身は、龍沢山宝鏡庵...

霊願あらたかな千手観音をおま...

六月十六・十七日(明治から七...

たいものである。

ブラジル通信

在ブラジルの中島之男...

早く降雪を見、平地にも冬が駆け...

さて、昨年の十二月、船で渡伯...

最初のパトロンからは鶏四千羽...

やら規模が小さかったのではない...

最近のことばも少しわかるよう...

贈与税の申告と納税は二月中に...

二月は贈与税の申告と納税の月...

その合計額が二十万円を超える方...

戸籍の窓から

うぶ声 御すこやかに

昇天 御めい福を祈る

贈与を受けた財産の評価方法に...

畑(自作地) 旧貸賃価格の...

野沢 ミツ野 八三

大久保 吉野 八三

登坂 福松 赤谷 八一

たかさご 御円満に

家屋 市町村の固定資産税評...

部落だより

毎年行なわれている坪山部落...

そもそこの部落は、昔から野...

この日一羽平均八〇〇羽のうさ...

新編 清水シャウ 寺 尾から

みそ汁給食

川西町立赤岩小学校

「おいしいね」「お汁飲んだらからだ、暖かくなった」「先生、人参飲べるとほった赤くなるね」「はく、ねぎも食べられるようになったよ」「わかめ汁も、大好きよ」

汁給食を始めて二ヶ月、冬季間の四月月だというわずかな間であるが子どもたちの喜びは大きい。「きょうは、なに汁かな」炊事室の柱に献立カードの下がるのを楽しみに待っている。長い間雪にうもれるこの山間地では、食生活にも新鮮さが薄れ毎日の栄養も忘れがちになるのではなからうか。一日の献立を児童に聞くと、朝は漬物と餅かぞうすい、昼は漬物と菜ひたし、夜に始めて汁と煮しめと煮つけ物がつくのだそうである。食卓にはいつも漬物が多いようである。弁当なども漬物ばかりという子もなかにはいる。これではカロリもたん白質も考えられない。魚類も海草類も少なくなりがちな冬の食生活に、せめて身近かにある植物性たん白の多い味噌汁を三度の食膳に十分取らせたいものと思う。

体育大会や発表会に参加すると赤岩の児童の体位は各校に比較して劣っているといわれる。この原因は食生活や山の環境その他いろいろと考えられる面が多い。四年前から児童の体位向上を図るためにミルク給食も行なっている。わずかではあるがこの給食を行なってきたら体位の向上がはっきり現われて県の平均をうまわる学年も出てきている。これを機会により以上に健康で丈夫な子どもたちをつくるために父兄の協力を得て始められたのが冬季間四月の汁給食である。学級役員の懇談会で学校の計画を話し、全員賛成と協力をいただき、四月月間の計画を父兄と話しあった。調理室も、調理台も釜の設備も何もない所から始めたのである。昔の古道具や鉄の大釜を使用し工作台を調理台にした。水道のシャ口は二つだけ、庖丁、ざるは買ったばかり狭いながらもとにかく活動できるようにした。

一週間の汁給食日は(月)金曜(日)までの五日間のみ、全学年四限の日も弁当を持参で汁をいただいでゆくことに決めた。

汁の野菜は児童の家庭から出していただくことにきめた。「子どもたちが飲むのであるから喜んで野菜を出します」といって心よく協力してくれる。野菜は三月までというので児童一名あて、一貫五百匁、味噌の分として豆を一貫出していた。野菜は同じもので大根四百匁、じゃがいも四百匁、白菜四百匁、人参、ねぎ、その他三百匁をめで合わせて一貫五百匁とした。こしは野菜がよくできたからと各家庭とも多く出してくださる。このほか豆五合を豆腐

油揚げとかえていただき、豆腐屋さんからの協力もいただいた。また燃料の薪も各家庭から出していただきほんとうに助かった。

毎日の献立には次の名前をつける。味噌汁には変わりないのであるが、味噌(豆腐汁)火曜(野菜汁)水曜(カレー汁)木曜(油揚げ汁)金曜(わかめ汁・けんちん汁)とカードで子どもたちへ知らせることにした。おあさんたちは寒い日も忙しい日も子どもたちの喜びの顔を見られるといっている。喜ぶの顔を見られるといっている。喜ぶの顔を見られるといっている。喜ぶの顔を見られるといっている。

今ではPTAのおりに父兄のこんな話も聞くようになった。「人参もねぎも食べ好きさいがなくなっていたいへんよ」「弁当のおかずが少なくてむすむ」「寒い日は暖まってよ」「味噌はたん白人参はビタミンと栄養的価値がわかるようになった」「行儀がよくなった」等たいへん喜んでいただいている。

このような父兄の期待に答え、児童のためにさらに充実した計画を立てるが炊事室の改善等は予算などの関係でなかなか実行がむずかしい。こしもPTAから薪や調味代をいただいているが、四月月の計画を立てるといってはいられない。これからの食生活は十分栄養を考え、献立することが大切である。一日の食生活に味噌汁だけは欠かすまいもの、欲をい

えは海草類のはいった汁、シチューやカレー汁のような変わった汁もよいであろう。

児童の味噌汁で楽しく弁当を開く時のまま年間を通じて続けてやりたいとも思う。父兄からの要望もあるが四月以降は仕事が忙しくなるので、この汁給食も三月には終わりにする。児童の望むミルクとパンとサラダで弁当のいらない給食がが校にもできたらどんなによいであろう。

汁給食を機にいつかは完全給食へふみきたいものと願っている。

米寿のお祝いに座ぶとんを贈る

川西町社会福祉協議会(中村杜吉会長)では、本年一月一日現在で呼び年八十八才になった人に米寿を記念して座ぶとん一枚ずつ贈りました。

- 本年の米寿該当者は明治九年に出生された次のかたがたです。
- | | | |
|------|-------|------|
| (氏名) | (世帯主) | (部落) |
| 池竹 | サキ由太郎 | 原田 |
| 滋野 | 浜吉定男 | 野口 |
| 高橋 | 子ノ弥作 | 高倉 |
| 押木 | トメ峰作 | 田戸 |
| 高橋 | ハル庄平 | 赤谷 |
| 樋口 | イ子正雄 | 下平新田 |
| 丸山治郎 | 吉本人 | 霜条 |
| 大井 | カ子竜吉 | 寺尾 |

町の掲示板

- ▽囀託員さま：……②
- ◎永公西組大森佳介◎永公東組中村長治◎上野山家普平◎元町押木徳治◎下平新田沢口武三郎◎三領

水品正一郎◎田代中島増三◎星名新田渡辺正吉◎大倉中条正平

▽ネズミくじ・ネズミ駆除券の当せん番号について

駆除券四等記念品二一四・一八〇

ネズミくじ、五等家庭暦下三ヶタ

〇六〇・五九二・九八八・三九三・九四六・七五三・三〇三・五〇・六五五・二八八

▽市内人事

◎退職 中島総子(総務課)

◎新任 池田和子 千手保育園

▽事務機構の改正

土木、国保衛生の二課を新設、役場事務の円滑な推進を図るため機構の一部を改正し、従来の産業課のうち土木、災害係を分離して土木課とし、財政課の国保・衛生係を国保衛生課とし二月一日より発足した。これに伴う人事については二面に図表で紹介した。

一月二十二日新潟市へ出張、おからの平野部集中豪雪にあい、二泊予定が三十一日まで各所で立往生し、やっと帰宅しました。旅費はとほしく寒さはきびしくいつ発車するかかわからぬ汽車を待つなど、あの終戦時が思い返されました。生まれてはじめて飯山線を早くと感じ、里の混乱に比べ三メートル四メートルの積雪も平年のことと静かな当地の雪質に感じました。雪を宿命とあきらめる時代は過去のものになった、個人の力でできない面は県なり国で面倒をみます、と塚田知事はいわれたが、これしきの雪に救助される者もいるのに政治の恩恵にあずかることの少ない当地こそ、雪害の

編集後記

記録をもとに町として中央に呼びかけるチャンスであり、当局の対策が聞きたい。旨の編集局あて投稿がありました。日本積雪連合の発表によると、積雪地帯は無雪地方に比べて家屋の修繕費百万円の家で積雪一メートルについて一五六〇円増であり、三メートルなら四六八〇円多く修繕費がかかるといっています。なおかつ雪崩の手間、困りなど、数えるほどに雪国のきびしさが身にしみます。なんの備えなくして豪雪におそれられた各地の方がたに心からお見舞いあげ、一日も早い復旧を祈っています。この災が転じて、今後当地方の生活がさらに注目され豪雪地地方交付税の増額や生活保障などに政治力がそそがれ、暖かい理解と援助が続けられることを願う。

かわし 俳壇

太白白蘭風選

大倉 金子 洋石

○寒牡丹柔かき陽を得てひそか 深雪中隣も遠くこもり住む

橋 野口 富夫

○雪の中機械音の二夕とろろ 小白倉 江口 凡石

雪のせて水柱の長き大葉家

元町 金子 鉄平

冬晴に湯気立つ毛糸ひろげ干す

みよし

字輩を送る雪道踏んで寄り 俳句の写生といふことは実際に 見た感じをそのまま纏めることである。その中に心境、息吹、感動 余韻といったものを含むように心 掛けていく。くだらぬことにとら われず、焦点をはっきりと。